南区役所だより　No.470

みなみ風

風と大地の恵みに新たな希望が芽吹く、郷土愛あふれるまち
～みんなでつくる暮らし続けたい南区～

スマホのカメラをかざすだけ！
南区役所だより音声版

令和8年 11月1日

発　行／新潟市南区役所
編　集／南区役所地域総務課
〒950－1292 南区白根1235番地
電　話　025(373)1000(代表)
ＦＡＸ　025(373)2385

南区ホームページ　https：//www.city.niigata.lg.jp/minami/　　Eメール　chiikisomu.s@city.niigata.lg.jp(南区役所地域総務課)

南区の人口(令和8年9月末現在、カッコ内は前月比)：41,079人(－36)　男：20,034人(－24)　女：21,045人(－12)　世帯数 16,909世帯(－13)(住民基本台帳による)

その症状 救急車を呼ぶサインかも！



急な病気やけがのとき「救急車を呼んだ方がいいのかな?」と迷うことはありませんか。今号では、いざというときに慌てず適切な判断ができるよう、救急車を呼ぶ目安や、判断に迷ったときに利用できる電話相談などの相談先を紹介します。

問 南消防署消防課　☎372-0119



こんなときは、ためらわず 119番！

次のような症状がある場合は、**すぐに救急車を呼んでください。**



意識がない・もうろうとしている



呼吸が苦しい・呼吸ができない



突然の胸や背中の激しい痛み



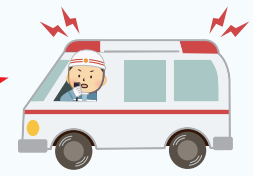
突然の激しい頭痛・腹痛

そのほか…

- けいれんが止まらない
- 大量に出血している
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなった
- 顔の片側がゆがむ
- ろれつが回らない
- 大きな事故や重いけがをした

※症状は一例です

「これくらいで呼んでいいのかな」とためらわず、緊急性があると思ったら119番してください



こんなときは 呼ぶのを待って！

～緊急性が低いと考えられる例～

- ☒ 救急車なら病院まで送ってもらえるから
- ☒ 夜間・休日で病院が見つからない
- ☒ 痛み止めの薬がほしい・注射を打ってほしい
- ☒ 軽いけが
- ☒ 歩行など日常の動作に支障はないが「念のため」利用する

南区でも、救急車は日々出動しています

令和7年 南区の救急出動　2,137件

救急車は、命に関わる緊急事態に対応するために活動しています。

一刻を争う人のもとへ、一秒でも早く駆けつけられるよう、救急車の適正利用にご理解とご協力をお願いします。

救急車を呼ぶか迷ったら

「病院に行った方がいい?」「救急車を呼ぶべき?」と判断に迷ったときは、救急医療電話相談や救急受診アプリ・AI救急相談アプリを利用できます。

大人(おおむね15歳以上)が対象
救急医療電話相談　#7119

こども(15歳未満)が対象
小児救急医療電話相談　#8000

相談時間　月曜～土曜　午後6時～翌午前8時
日曜・祝日　午前8時～翌午前8時



全国版救急受診アプリ

Q助　利用料無料　消防庁が作成しました

急な病気やけがをした時に、病院に行くタイミングや救急車を呼ぶ判断に迷った場合に、症状を画面で選ぶだけで、緊急度に応じた対応を支援します。

ダウンロードはこちらから

LINEで気軽に相談！

AI救急相談アプリ　利用料無料　消防庁の緊急度判定を基に判定します

症状をチャットで入力すると、AIが緊急度を判定し、対処方法などを案内します。

LINEで友だち追加するだけ!

友だち追加はこちらから

現場の声

南消防署の救急隊員に話を聞きました



南消防署　消防課
樋口 さん

Q 区民の皆さんに知っておいてほしいことは?

A 南区は2台の救急車が日々、救急要請に対応しています。2台とも出動しているときは、他の区から救急車が駆け付ける体制を整えていますが、緊急性の低い救急要請が重なると、本当に救急車を必要とする人のもとへ到着するまでに時間がかかる恐れがあります。

Q 区民の皆さんへメッセージをお願いします。

A 命に関わる症状があるときや、緊急性が高いと感じたときは、ためらわず119番へ。
判断に迷ったときは、電話相談なども活用してください。一人でも多くの命を救うため、ご理解とご協力をお願いします。

冬場の浴室で多発！ ヒートショックに注意



次のことに気を付けましょう!

- ☑ 脱衣所や浴室を事前に温め、温度差を少なくする
- ☑ 熱いお湯に長く入らない(41℃以下、10分程度が目安)
- ☑ 家族に一声掛けてから入浴する

浴槽内でぐったりしている人を発見したら…

①浴槽の栓を抜き、大声で助けを呼び家族を集める。
②浴槽から出せる場合はすぐに救出し、救急車を要請する。
③肩をたたきながら声を掛け、反応があるか確認する。
④胸や腹の動きがあるか確認。→ない場合は心臓マッサージを行う

※意識の異常(自力で水分が飲めない、体が異常に熱い、立てないなどの症状)がある場合はすぐに救急車を呼びましょう